

第 2 章 近江八幡市の高齢者を取り巻く現状

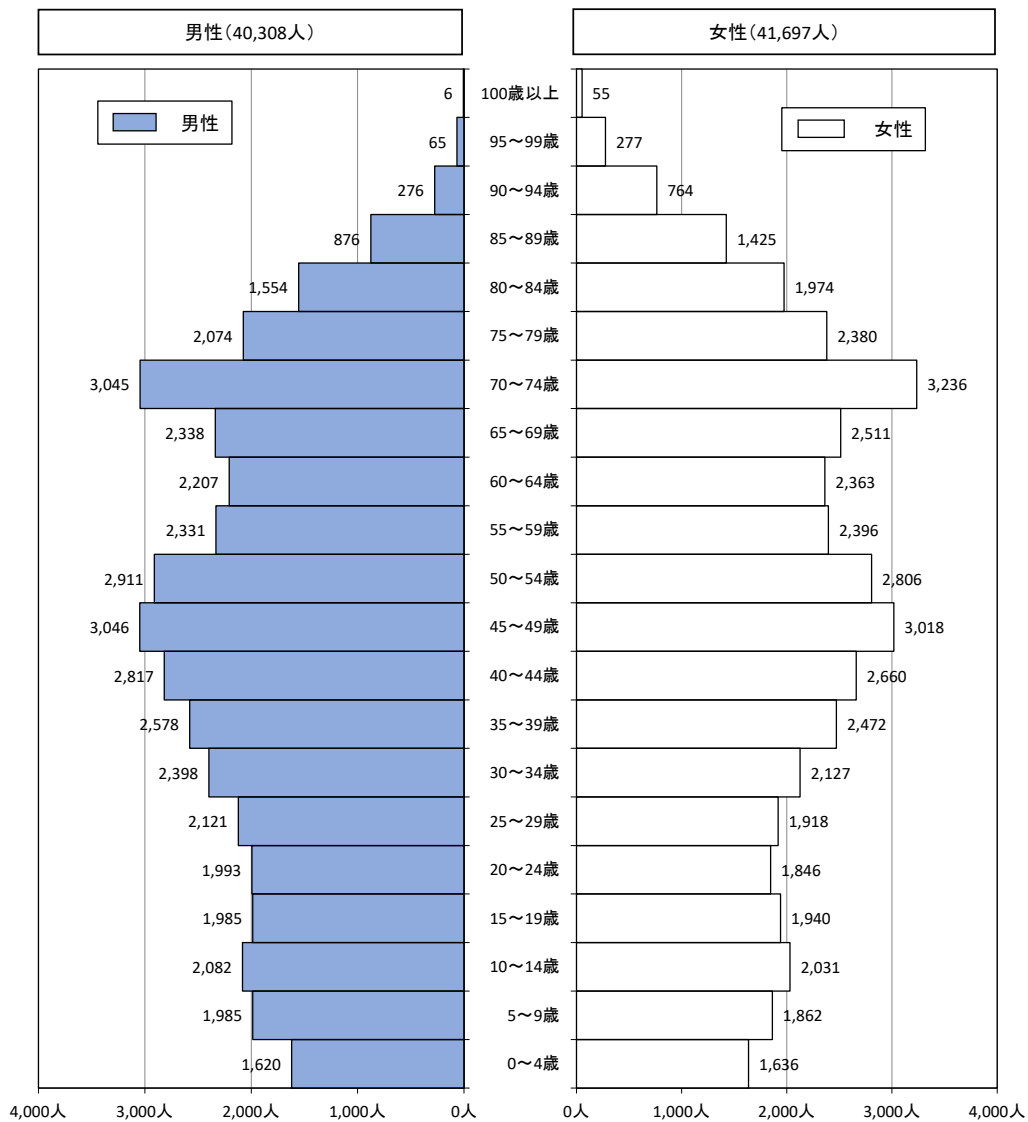
1. 統計データからみる市の状況

1) 人口の状況

①人口構造

近江八幡市の人口は、令和 4 年 10 月 1 日現在で、男性 40,308 人、女性 41,697 人、総人口 82,005 人となっています。年齢 5 歳階級別にみると、男性は 45～49 歳の人口が最も多く、次いで 70～74 歳、50～54 歳が続いています。女性は 70～74 歳の人口が最も多く、次いで 45～49 歳、50～54 歳が続いています。

【近江八幡市の人口ピラミッド】

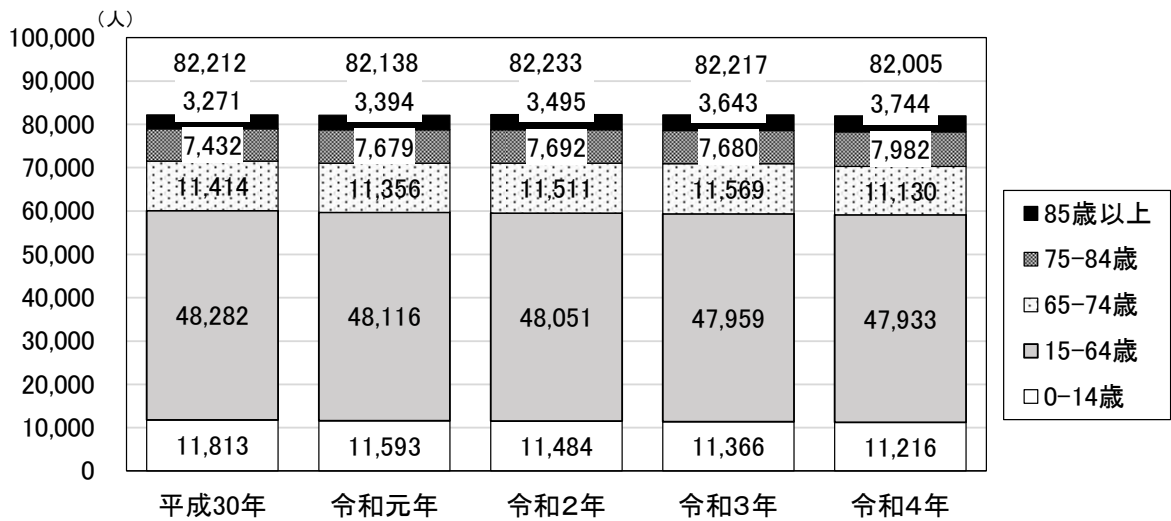


資料：住民基本台帳（令和 4 年 10 月 1 日現在）

②人口の推移

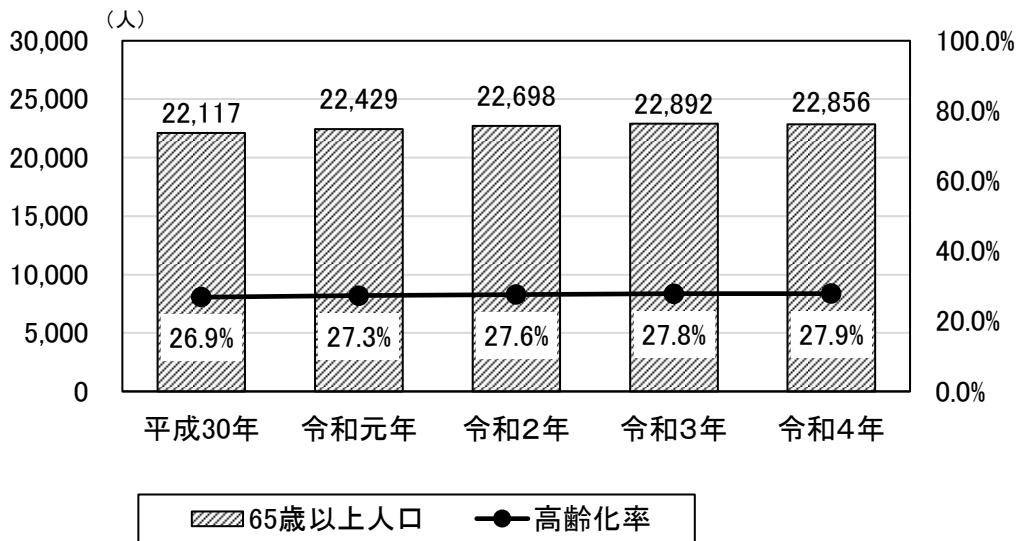
本市の人口は、近年 82,000 人台で推移しています。年齢区分別に見てみると、0～14 歳の年少人口及び 15～64 歳の生産年齢人口は減少しています。一方、高齢者人口は年による増減はあるものの 5 年間で増加し、高齢化率も増加しています。高齢者人口の中でも、65～74 歳人口は 5 年間で減少しており、75～84 歳、85 歳以上はともに増加しています。

【年齢区分別人口・構成比の推移】



資料：住民基本台帳（各年 10 月 1 日現在）

【高齢者人口と高齢化率の推移】



資料：住民基本台帳（各年 10 月 1 日現在）

参考資料 1

学区別に 65 歳以上の高齢者人口の推移を見ると、馬淵学区以外は増加傾向にあります。

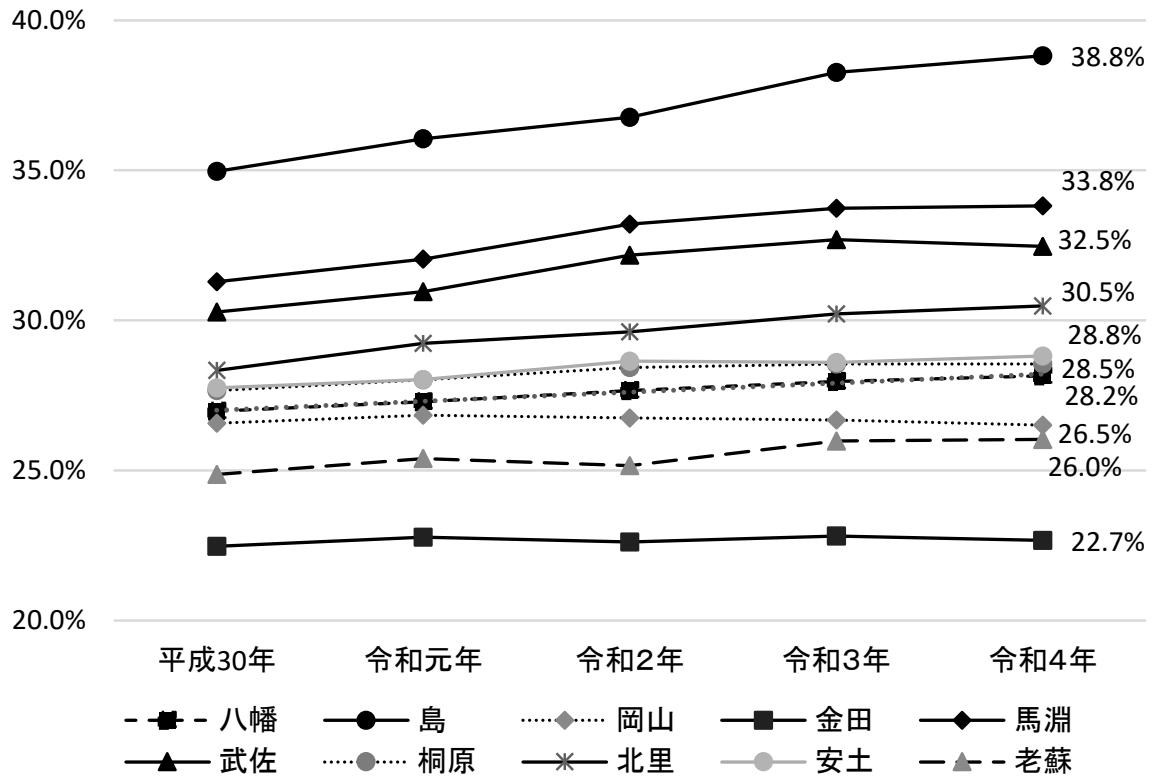
【学区別高齢者数（65 歳以上）の推移】

	平成 30 年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
八幡	4,056	4,078	4,098	4,110	4,095
島	706	713	714	730	726
岡山	1,628	1,648	1,643	1,643	1,643
金田	3,465	3,513	3,594	3,650	3,649
馬淵	1,087	1,078	1,084	1,095	1,070
武佐	1,182	1,200	1,231	1,242	1,240
桐原	5,015	5,120	5,211	5,252	5,248
北里	1,595	1,649	1,657	1,678	1,690
安土	2,708	2,748	2,794	2,804	2,816
老蘇	675	682	672	688	679

資料：住民基本台帳（各年 10 月 1 日現在）

学区別の高齢化率では、各学区とも横ばいから増加傾向です。中でも島学区、馬淵学区、武佐学区、北里学区が高くなっており、30%を超えています。

【学区別高齢化率の推移】

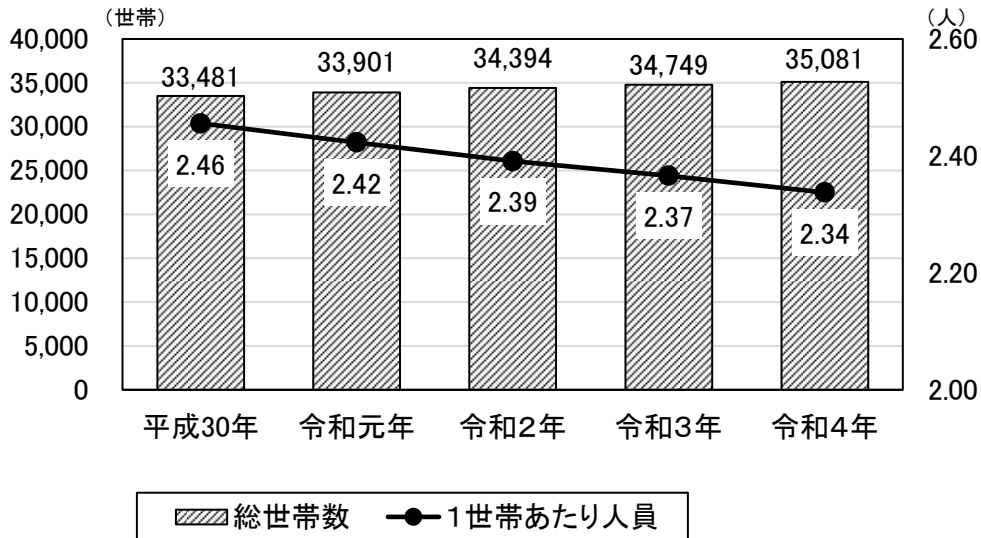


資料：住民基本台帳（各年 10 月 1 日現在）

2) 世帯の状況

本市の世帯数は令和4年10月1日現在で、35,081世帯で、年々増加している一方、一世帯あたり人員数は減少が続いています。

【世帯数・世帯あたり人員数の推移】



資料：住民基本台帳（各年10月1日現在）

本市の高齢者世帯数は年々増加しており、令和4年10月1日現在で、総世帯数に占める割合は、44.2%です。高齢者世帯の内訳をみると、令和4年10月1日現在で、高齢者単身世帯は5,264世帯、夫婦のみの世帯が4,452世帯となっており、年々増加しています。

【高齢者世帯の概況（推移）】

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
総世帯数	33,481	33,901	34,394	34,749	35,081
高齢者のいる世帯数	15,043	15,219	15,368	15,509	15,518
総世帯数に対する構成比	44.9%	44.9%	44.7%	44.6%	44.2%
高齢者単身世帯	4,714	4,850	5,002	5,120	5,264
総世帯数に対する構成比	14.1%	14.3%	14.5%	14.7%	15.0%
高齢者夫婦世帯	4,070	4,222	4,332	4,409	4,452
総世帯数に対する構成比	12.2%	12.5%	12.6%	12.7%	12.7%
その他世帯	6,259	6,147	6,034	5,980	5,802
総世帯数に対する構成比	18.7%	18.1%	17.5%	17.2%	16.5%

資料：住民基本台帳（各年10月1日現在）

【高齢者世帯の概況（学区別）】

	全体	八幡	島	岡山	金田	馬淵	武佐	桐原	北里	安土	老蘇
総人口	82,005	14,547	1,870	6,198	16,098	3,164	3,819	18,383	5,544	9,773	2,609
高齢者数	22,856	4,095	726	1,643	3,649	1,070	1,240	5,248	1,690	2,816	679
高齢化率	27.9%	28.2%	38.8%	26.5%	22.7%	33.8%	32.5%	28.5%	30.5%	28.8%	26.0%
高齢者の いる世帯数	15,518	2,888	495	1,102	2,488	708	899	3,501	1,115	1,869	453
一人暮らし 高齢者数	5,264	1,157	161	386	852	212	388	1,129	329	521	129
一人暮らし率	6.4%	8.0%	8.6%	6.2%	5.3%	6.7%	10.2%	6.1%	5.9%	5.3%	4.9%
高齢者のみ 世帯数	9,970	1,956	296	701	1,633	434	611	2,319	662	1,108	250
高齢者のみ 世帯人員数	14,817	2,776	436	1,030	2,439	670	839	3,531	1,002	1,714	380
高齢者のみ 暮らし率	18.1%	19.1%	23.3%	16.6%	15.2%	21.2%	22.0%	19.2%	18.1%	17.5%	14.6%

※一人暮らし率：総人口に占める一人暮らし高齢者の割合

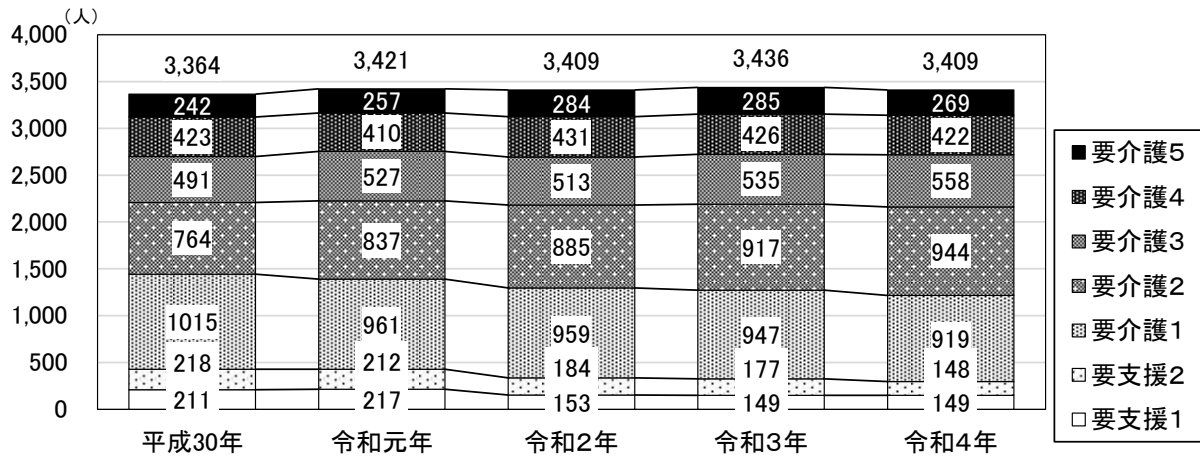
※高齢者のみ暮らし率：総人口に占める高齢者のみ世帯で暮らしている高齢者の割合

資料：住民基本台帳（令和4年10月1日現在）

3) 要介護（要支援）認定者の状況

本市の要介護（要支援）認定者数は、令和4年9月末現在で、3,409人となっており、要介護2が944人、要介護1が919人と中度者が多くなっています。

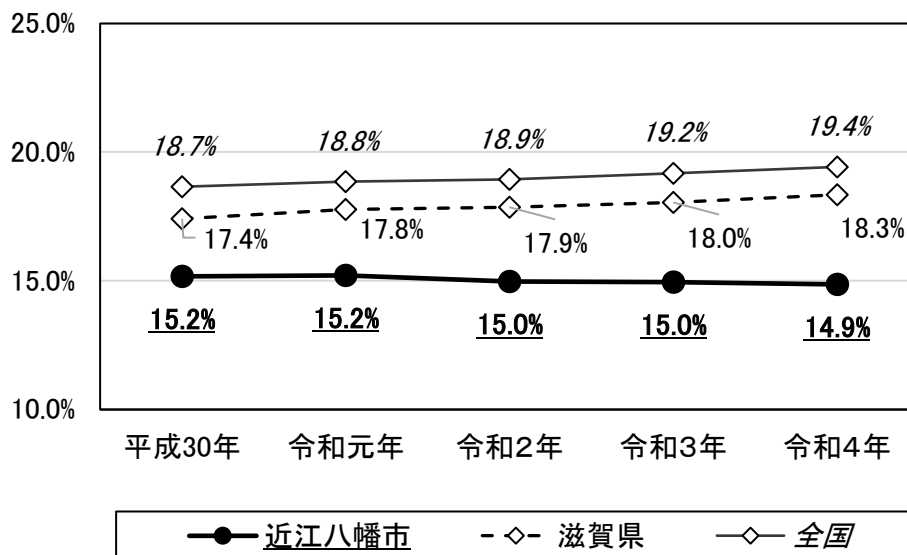
【要介護（要支援）認定者数の推移（2号含む）】



資料：介護保険事業状況報告（各年9月末）

要介護（要支援）認定率は国や県よりも低い値で推移しており、令和4年9月末時点で14.9%となっています。

【要介護（要支援）認定率の推移】



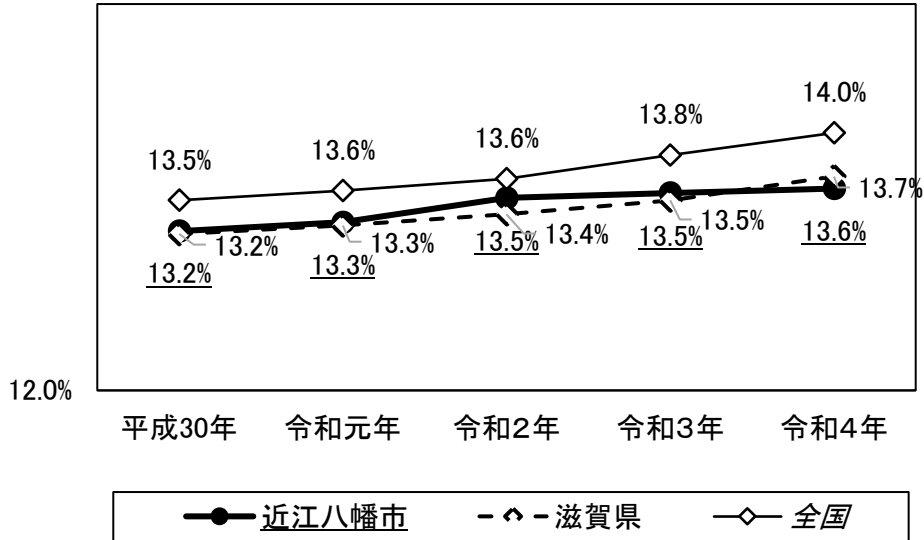
資料：介護保険事業状況報告（各年9月末）

要介護（要支援）認定率は、要介護（要支援）認定者数（2号含む）を第1号被保険者数で除した値。

参考資料 1

要介護認定率（要支援除く）は、県と同程度、全国よりも低い値で推移しており、令和4年9月末時点で13.6%となっています。

【要介護認定率（要支援除く）の推移】



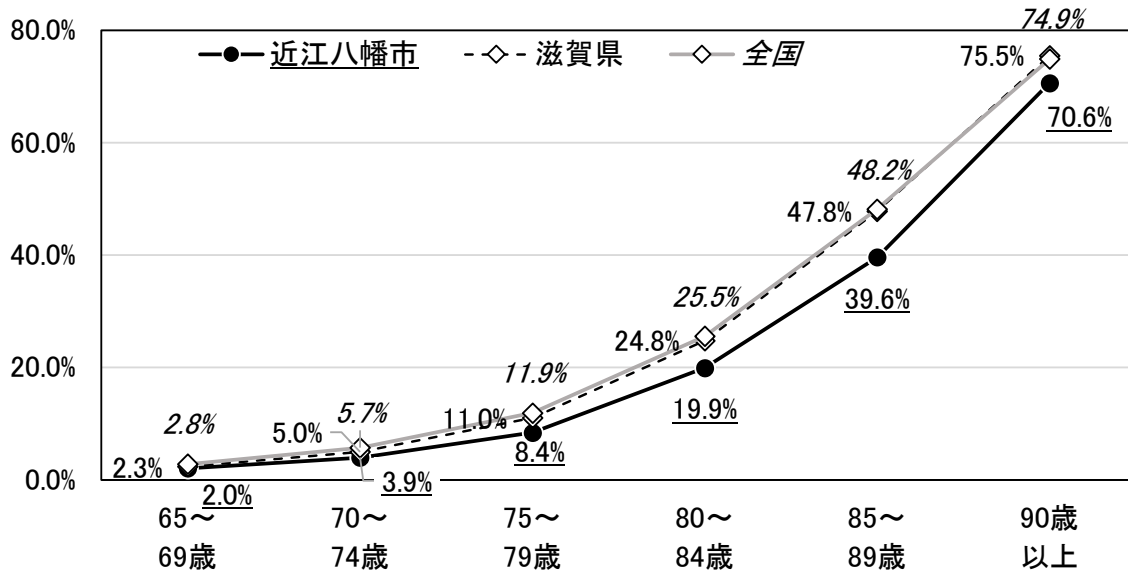
資料：介護保険事業状況報告（各年9月末）

要介護認定率（要支援除く）は、要支援認定者を除く要介護認定者数（2号含む）を第1号被保険者数で除した値。

参考資料 1

令和4年12月末の年齢構成別での要介護等認定率をみると、65～69歳は2.0%、70～74歳は3.9%と5.0%に達していません。しかし、認定率は年齢とともに増加しており、特に、85～89歳では39.6%と4割弱となり、90歳以上では70.6%と7割を超えています。県・全国と比較すると、全ての年代で滋賀県・全国よりも低くなっています。

【年齢区分別の認定者数】



資料：要介護等認定者数は介護保険事業状況報告（令和4年12月末）、人口は総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（令和5年1月1日現在）」

学区別の認定者数の推移を見ると、令和4年の認定者が平成30年よりも減少している学区は、岡山学区、金田学区、武佐学区で、それ以外の学区は増加しています。

【学区別認定者数の推移】

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
八幡	671	696	704	690	685
島	120	117	124	125	128
岡山	339	340	325	311	317
金田	486	505	501	511	482
桐原	605	629	636	645	635
馬淵	156	148	148	162	158
北里	229	240	219	229	234
武佐	206	204	189	192	190
安土	372	360	380	368	383
老蘇	100	105	104	113	107
市外	79	74	81	92	88

資料：庁内資料（各年10月1日現在）

参考資料 1

新規要介護認定件数は、令和2年度を境に、近年は増加傾向になっています。内訳を見ると、要介護1と要介護2の割合が多くなっています。

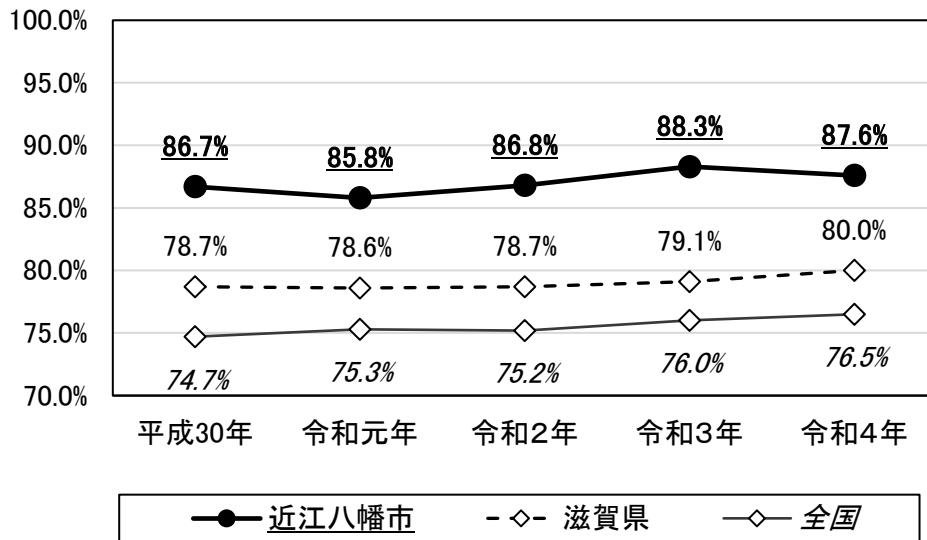
【新規認定件数と認定内訳の推移】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
要支援1	105	101	65	77	67
要支援2	80	82	70	70	51
要介護1	279	259	267	311	342
要介護2	132	128	144	153	165
要介護3	54	70	58	68	93
要介護4	46	48	54	62	64
要介護5	32	39	35	26	25
合計	728	727	693	767	807

資料：庁内資料（各年度を通して新規申請をされた人の合計）

介護サービス利用率は、国や県よりも高い値で推移しており、令和4年は87.6%となっています。

【介護サービス利用率の推移】

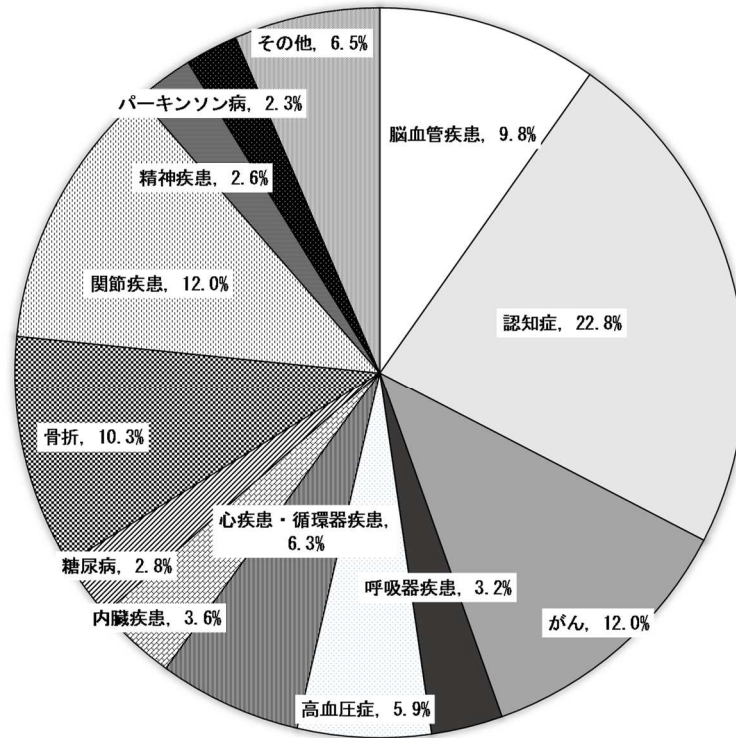


資料：地域包括ケア「見える化」システム

4) 新規要介護申請者の原因疾患の状況

新規要介護申請の原因疾患としては、認知症が22.8%で最も多く、続いて、がんと関節疾患が12.0%で続いています。男性・74歳以下では、脳血管疾患、女性・74歳以下では関節疾患、男性・75～84歳ではがん、それ以外は認知症が最も多くなっており、性・年齢別の違いが見て取れます。

【新規要介護申請者の原因疾患（令和4年度）】



【新規要介護申請者の原因疾患（令和4年度：性・年齢別）】

	男性								女性							
	全体		年齢別						全体		年齢別					
	n	%	74歳以下		75～84歳		85歳以上		n	%	74歳以下		75～84歳		85歳以上	
脳血管疾患	37	12.8%	18	27.7%	16	11.7%	3	3.4%	34	7.8%	6	10.3%	11	6.7%	17	7.8%
認知症	52	18.0%	9	13.8%	27	19.7%	16	18.4%	114	26.0%	8	13.8%	48	29.4%	58	26.7%
がん	62	21.5%	14	21.5%	36	26.3%	12	13.8%	25	5.7%	7	12.1%	8	4.9%	10	4.6%
呼吸器疾患	14	4.8%	1	1.5%	10	7.3%	3	3.4%	9	2.1%	1	1.7%	4	2.5%	4	1.8%
高血圧症	18	6.2%	2	3.1%	6	4.4%	10	11.5%	25	5.7%	1	1.7%	6	3.7%	18	8.3%
心疾患・循環器疾患	22	7.6%	0	0.0%	8	5.8%	14	16.1%	24	5.5%	0	0.0%	6	3.7%	18	8.3%
内臓疾患	13	4.5%	2	3.1%	7	5.1%	4	4.6%	13	3.0%	3	5.2%	4	2.5%	6	2.8%
糖尿病	8	2.8%	3	4.6%	1	0.7%	4	4.6%	12	2.7%	1	1.7%	6	3.7%	5	2.3%
骨折	15	5.2%	4	6.2%	4	2.9%	7	8.0%	60	13.7%	5	8.6%	25	15.3%	30	13.8%
関節疾患	14	4.8%	5	7.7%	6	4.4%	3	3.4%	73	16.7%	12	20.7%	28	17.2%	33	15.2%
精神疾患	5	1.7%	1	1.5%	1	0.7%	3	3.4%	14	3.2%	7	12.1%	5	3.1%	2	0.9%
パーキンソン病	13	4.5%	3	4.6%	7	5.1%	3	3.4%	4	0.9%	2	3.4%	2	1.2%	0	0.0%
その他	16	5.5%	3	4.6%	8	5.8%	5	5.7%	31	7.1%	5	8.6%	10	6.1%	16	7.4%
合計	289	100.0%	65	100.0%	137	100.0%	87	100.0%	438	100.0%	58	100.0%	163	100.0%	217	100.0%

資料：庁内資料

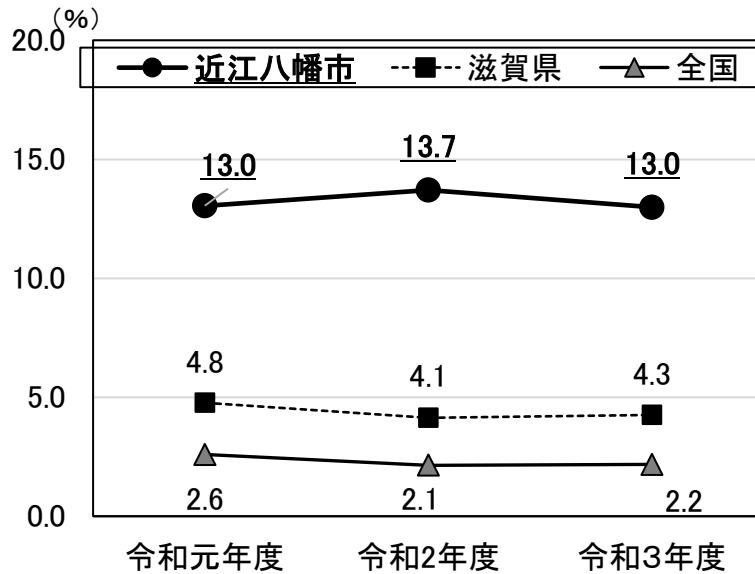
5) 介護予防の状況

週1回以上の通いの場の参加率は、国や県よりも高い値で推移しており、令和3年度は13.0%となっています。

第1号被保険者1万人あたりの通いの場のか所数は、国や県よりも高い値で推移しており、令和3年度は150.6か所となっています。

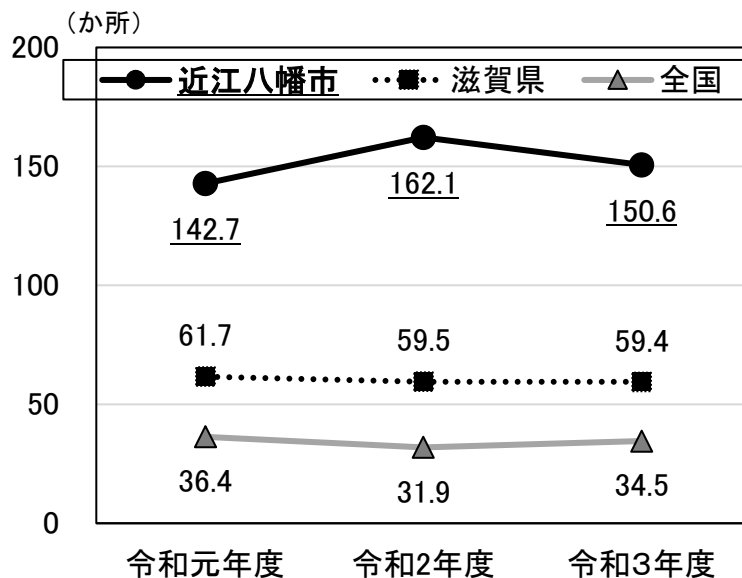
第1号被保険者に占める介護予防・生活支援サービス事業対象者の割合は、国や県よりも高い値で推移しており、令和3年度は1.0%となっています。

【週1回以上の通いの場の参加率】



資料：厚生労働省「介護予防・日常生活支援総合事業等（地域支援事業）の実施状況に関する調査結果」、第1号被保険者数は、介護保険事業状況報告（各年9月末）

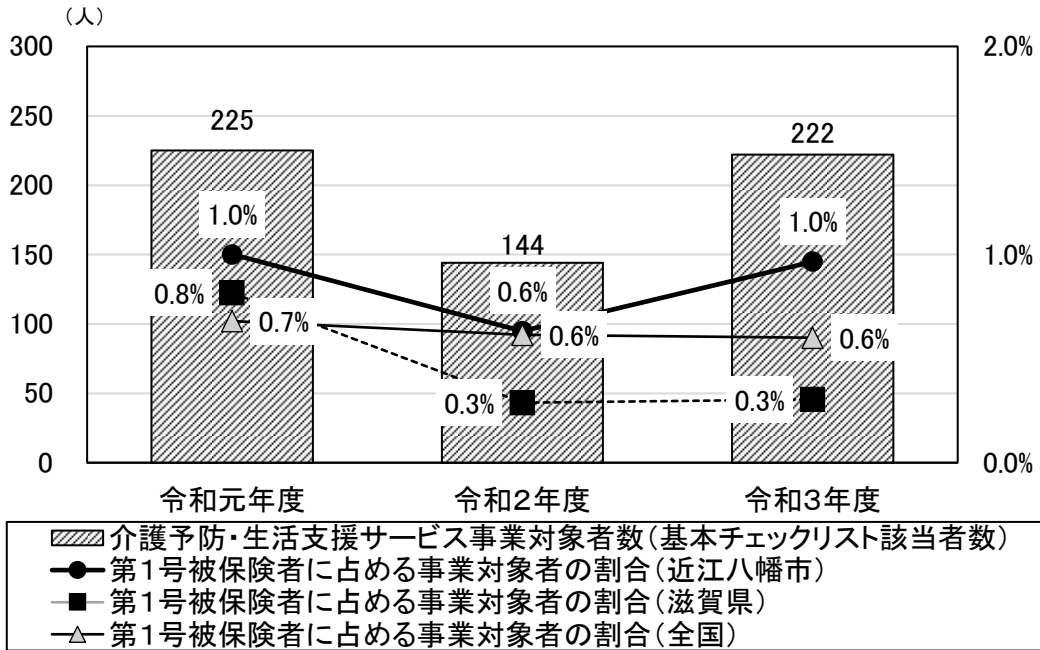
【第1号被保険者1万人あたりの通いの場のか所数】



資料：厚生労働省「介護予防・日常生活支援総合事業等（地域支援事業）の実施状況に関する調査結果」、第1号被保険者数は、介護保険事業状況報告（各年9月末）

参考資料 1

【介護予防・生活支援サービス事業対象者数（基本チェックリスト該当者数）と第1号被保険者に占める事業対象者の割合】

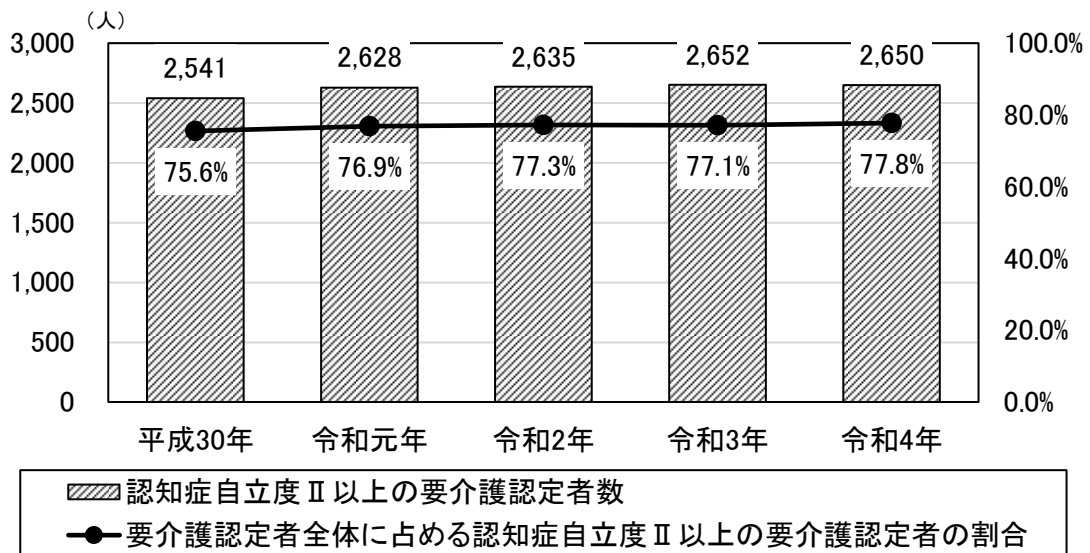


資料：厚生労働省「介護予防・日常生活支援総合事業等（地域支援事業）の実施状況に関する調査結果」、第1号被保険者数は、介護保険事業状況報告（各年9月末）

6) 認知症の状況

認知症自立度Ⅱ以上の要介護認定者数は、増減はありながらも増加しており、令和4年は2,650人となっています。また、要介護認定者全体に占める認知症自立度Ⅱ以上の要介護認定者の割合も増加しており、令和4年は77.8%となっています。

【認知症自立度Ⅱ以上の要介護認定者数】



資料：庁内資料

※認知症自立度Ⅱ以上の高齢者数は、主治医意見書で認知症自立度Ⅱ以上または介護認定調査員の訪問時で認知症自立度Ⅱ以上を抽出